

## 第2回とやま未来創生戦略施策等評価会議における主な意見 (平成29年12月14日 開催)

### ◆全般に関すること

- 重要業績評価指標も大切だが、施策全体の方向性をしっかりと見据えることが重要。

### 【基本目標1】結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備

- 未婚率が上昇していることもあり、マリッジサポートセンター等、男女の出会いの場の創出についてより一層取り組むべき。
- 仕事と子育ての両立支援のための環境整備にもっと取り組むべき。
- 中小企業も女性の活躍に向けて育児休暇制度の取得促進等に取り組んでいるところであり、色々な面でバックアップ願いたい。

### 【基本目標2】産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進

- 医薬品産業の発展に向けてバイオ医薬品など新しい分野にチャレンジすべき。
- 若者・女性の流出が多いことから、県内に女性にとって魅力的な企業があることをPRすべき。
- 官民が連携した地域資源を活用したまちづくりを推進すべき。
- DMO等が中心となり、地域が連携して誘客促進に努める必要がある。
- 高山ー白川郷ー金沢と人が流れているという実感があるが、金沢から県西部へ観光客を誘導する施策が必要である。
- 食にスポットを当てた観光推進に取り組むべき。
- 宿泊者数を伸ばすため、黒部の魅力発信に取り組むべき。
- 中国をはじめ、外国人旅行客はスマートフォン活用によるキャッシュレスを求める時代であり、対応する環境整備が必要。

### 【基本目標3】女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上

- 出産後も安心して働ける職場環境づくりに企業側のアイデアも取り入れながら取り組むべき。
- 生産年齢人口減少を見据え、働く意欲がある高齢者の就労支援に取り組むべきである。

### 【基本目標4】活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくり

- 東京便は大切な路線であり、利用を企業に働きかけるなど、存続にむけて利用促進に取り組むべき。
- 首都圏等からの誘客を見据え、相互利用可能な交通系ICカードの導入をすすめるべき。
- 定年が延長されることを見据え、さらなる健康管理の徹底が必要。